



南京大虐殺事件七十周年・府連學習会を開く

南京ではシンポジウムを開催

1937年七月七日の北京郊外の盧溝橋事件を契機として、日本軍の中国全土への侵略が一層激化しました。同年八月には国際都市・上海へと戦火が広がりました。日本軍は中国軍民の激しい抵抗にあり、三ヶ月間も激戦が続きました。

そして、十万もの日本軍が上海と杭州湾から南京に攻め込むまでの間、いたる所で、中国の民衆を虐殺・強姦し、食料を強奪しました。

今年十一月、南京大学にて日中両国の研究者七十人が参加し「南京大虐殺史料学術シンポジウム」が開催されました。中国側からは十二月に「南京大虐殺資料集」が出版されるにあたつて、日中間の政治問題を極力排除し、現存する各国（日本、米国、ドイツ、英国）の関連史料の分析に力点をおく、客観的な研究が目立ちました。資料集の責任者でシンポジウムの呼びかけ人、張憲文・南京大學教授は「歴史はかがみだ。誰が見ても明確な歴史にする作業は、政治家ではなく歴史

京に攻め込んだ日本軍は、六週間以上にわたり無抵抗の女性・老人・子供・捕虜に虐殺、強姦、放火、破壊、略奪というあらゆる蛮行をはたらきました。日本軍が南京で虐殺した犠牲者の人数は、中国側の資料によると三十万人以上、強姦事件だけでも、二万件以上に達するとされています。

府連では十二月二日に藤後博己副会長を講師に日中友好をアジアと世界の平和につなげるため、日中両国民の相互理解が深まる」と願い、「南京大虐殺事件」の学習会を開催しました。

今こそ不再戦・平和の活動を強めていかねばならないと思います。

「南京大虐殺記念館」は十二月十三日の記念日に再開出来るようリニューアルされ、面積も三倍に拡張されました。そしていま、事件の被害者の方々の、「名誉毀損裁判」が闘われています。

七十周年のこの時期、「南京大虐殺はなかった」という反動的な動きも強まっている

七十周年のこの時期、一南
京大虐殺はなかった」という
反動的な動きも強まっている
今こそ歴史を学ぶことが大切
です。

そしていま、事件の被害者の方々の、「名誉毀損裁判」が闘われています。

七十周年のこの時期、「南京大虐殺はなかつた」という反動的な動きも強まっている今こそ歴史を学ぶことが大切です。

府連では十二月二日に藤後博己副会長を講師に日中友好

府連では十二月二日に藤後
博己副会長を講師に日中友好
をアジアと世界の平和につな
げるため、日中両国民の相互
理解が深まることを願い、
「南京大虐殺事件」の学習会
を開催しました。

今こそ不再戦・平和の活動を強めていかねばならないと思います。



太極拳本部
指導員研修会
が行なわれま
した。



二面に守口
高木さんのレポートを掲載して
ます。

08年太極拳新春初けいこ

会 場：守口市民体育館
(京阪電車守口市駅下車すぐ)

参加費：1000円

1月14日(祝)

午前10時～16時

守口支部主催

連絡先：大阪府連06-6372-8131

学者の仕事であり責任だ」と話しました。資料集の日本側の責任者の笠原十九司・都留文科大学教授は「（日中関係が改善した）今は事実に基づいた研究をする方向にあり、討論しやすくなつた」と評価しています。

「南京大虐殺記念館」は十二月十三日の記念日に再開出来るようリニュアルされ、面積も三倍に拡張されました。

そしていま、事件の被害者の方々の、「名誉毀損裁判」が闘われています。

七十周年のこの時期、「南京大虐殺はなかつた」という反動的な動きも強まつていて、今こそ歴史を学ぶことが大切です。

府連では十二月二日に藤後博己副会長を講師に日中友好

いた研究をする方向にあり、討論しやすくなつた」と評価しています。

「南京大虐殺記念館」は十二月十三日の記念日に再開出来るようリニューアルされ、面積も三倍に拡張されました。

そしていま、事件の被害者の方々の、「名誉毀損裁判」が闘われています。

七十周年のこの時期、「南京大虐殺はなかつた」という反動的な動きも強まっている

ここ数年、毎回参加された方で「足が・・・」「階段まで階段で上がるのとお電話もありましたが、毎年楽しみにされておられ「材料だけほしい」と言われる常連の方もおられます。

「来年もまた・・・」「楽しみにしてます・・・」と、それぞれ作品を持って帰られました。今後の課題として、新しく参加される方を増やす方法を考えなけれど、思つてはいるところです。

西支部も恒例のきりえ教室を十一月二十一日、五名が参加して日中文化センターで開きました。講師の稻田雪男さんから書きえの基本を教わりながら、来年の干支“ねずみ”的型絵に沿つてカッターで切り取り、色紙を張り合わせながら色紙に仕上げました。

初めての人から毎年参加している人まで、出来上がった個性のある作品を見比べながら記念写真を撮りました。



きりえで創る「年賀状・干支色紙」
講習会を開きました

